

# インターンシップにおける事前事後学習の指導の工夫 ～進路選択への意欲向上を目指して～

キャリア教育班 生方さおり（高等学校教諭）

## 生徒の実態



- 職業と自分の進路とを結び付けて意識したことがない
- 自分がどんな進路選択をしたらよいのか分からない

## 三つの手立て

- 生徒の意識を意図的に記録させる
- 仕事を意図的に観察させる
- 生徒の体験や感想等の情報を共有する

## 研究の実践

事前指導

インターンシップ

事後指導

### 意識を意図的に記録させる

- ・就きたい仕事について考える
- ・進路選択について考える
- ・中学校の時との違いを考える

- ・想像していた仕事と実際の仕事を比較する
- ・進路選択について考える

- ・記録した内容を振り返る
- ・意識の変化に気付く
- ・今の意識をまとめる



どんな気持ちで臨みますか？



- ・将来の就職に向けて自分はどういう職業に就きたいかなど進路の役に立つようなインターンシップにしたい。

### 仕事を意図的に観察させる

- ・どんな服装で働いているか
- ・担当者に聞く(大変さ、楽しさ、どんな人に向いているか など)

- ・同じ事の繰り返しで大変だったけど、ノルマを達成した時にやりがいを感じた。
- ・いろいろな職業の特徴や仕事内容、資格が分かった。

### 体験や感想等の情報を共有する

- ・友達の発表を聞いて、今後の進路選択の参考になったか

- ・サービス業や保育士の仕事に興味をもった。
- ・服装やあいさつをしっかりしたい。
- ・進路選択の参考になった。

## 成果

- 意識の記録を確認させることで、気持ちの変化に自分自身で気付かせることができた。
- 具体的な体験内容を共有させることで、いろいろな仕事に興味をもたせることができた。
- 進路選択について真剣に考えようとする生徒が出てきた。

## 課題

- 生徒一人一人に、進路選択を自分のこととして考えさせるために、実習日誌やワークシートの活用、報告会の運営などを工夫していきたい。
- 高校卒業後の生き方を自ら考えられるように指導を工夫していきたい。